

教育委員会の点検・評価  
(平成28年度分)  
報告書

平成29年 7 月  
境港市教育委員会

【目標3：社会教育の充実】

事業名	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域の教育力が低下している。未来を担う子ども達の健全育成を図るため、学校・家庭・地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを引き続き目指す。</li> <li>学校・家庭・地域の連携協力のための様々な取り組みを支援し、社会全体の教育力の向上を図る。</li> </ul>		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度より教育委員会事務局内に学校支援コーディネーターを配置し、市内小中学校10校と学校ボランティアとの調整を図りながら、学校の要望に応じて様々な教育活動を支援する。</li> <li>国の委託事業を平成23年度から国県の補助事業として実施。「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」（市1/3負担）</li> </ul>		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の要望に応じて様々な教育活動を支援した。 →登下校安全指導、読み聞かせ、環境整備等</li> <li>「コーディネーター便り」を配付し、事業内容の啓発を図った。 配布先：学校、保護者、公民館、当該ボランティア等</li> <li>見守りボランティア意見交換会を実施</li> </ul>		
予算額	1,097千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア登録人数が引き続き本年度も大幅に増加している。（291名→335名）</li> <li>見守りボランティア意見交換会を実施し、研修するとともに、課題の共有等が図れた。</li> <li>中学校を花の植栽、読み聞かせなどで支援した。</li> </ul>		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域により登録に偏りがある。引き続き、登録者の増加に努める必要がある。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度、中学校の支援につながったが、引き続き広げていく工夫が必要となる。</li> </ul>		

※ 学識経験者による指摘・助言

- 読み聞かせ等ジャンルが異なるものは別として、公民館が首謀する余子「子ども見守り隊」が児童の登下校時の安全安心をサポートしつつ、「子ども農業塾」にもリンクし、地域住民を巻き込んだ活動を継続している。市の支援金申請を行わず、平成29年度より育成会と地区社協が協賛し継続性のある活動にする。28年度はサツマイモの苗植えや、そばの種まきをみんなで行い、収穫の体験から収穫祭までを楽しむことができた。
- 収穫したサツマイモは余子地区のふれあいの家に提供し、小規模多機能型居宅介護「時の里」にも参加報酬として提供している
- 地域全体を見、できることから始めれば徐々に広がりを感じられるようになる。誰でも参加できるオープンな「いっとき体験農業」をやってみる価値がある。

【目標3：社会教育の充実】

事業名	読書活動推進大会開催事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタートに始まり、「朝読」、「ファミリー読書」というように、赤ちゃんから大人まで生涯を通じた読書活動の推進を図る。</li> <li>・「読書まつり」を実施し、読書の楽しさ・大切さを伝える。</li> </ul>		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ団体等による読み聞かせ、読書に関する展示、その年々のテーマに沿った講演会等を開催し、様々な形で読書活動を市民に周知し生涯読書の推進を図る。</li> </ul>		
実施状況	<p>◎テーマ 『境港市読書まつり』～赤ちゃんから大人まで本で楽しいひとときを～            日時場所 11月27日(日) 11:00～15:30 市民図書館周辺            参加人数 約350人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会 演題：『瀬戸内市の図書館づくり』                講師：嶋田学さん(瀬戸内市立図書館長)</li> <li>・子ども体験教室：世の中で活躍しているロボットたち                (米子工業高等専門学校出前講座)</li> <li>・赤ちゃんを対象としたお話会(境港親と子どもの劇場)</li> <li>・絵本等の展示・小さなカメラマンの作品展示、アンティークカメラの展示・「カメラで遊ぼう」・学校図書館展示(各小・中・高等学校図書館の取り組みを紹介)・読みメンによる読み聞かせ・1箱本屋さん(一般公募)・写真展示…家族と本のある風景(一般公募)・手作りカフェ、バザー(境港市女性団体連絡協議会)・本に関する図書館クイズラリー(5箇所)</li> </ul>		
予算額	102千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目となる「読みメンによるお話し会」をブックスタート15周年記念事業と共催で実施。「カメラで遊ぼう」や「世の中で活躍しているロボットたち」なども含め魅力的な催しが多く、集客につながった。</li> <li>・本年度は、学校図書館展示に高等学校からも参加をいただいた。高等学校の取り組みも分かり好評でした。</li> <li>・『瀬戸内市の図書館づくり』という演題で、ご経験をお話しいただき、図書館建設を控える本市にとって有益だった。</li> </ul>		
評価	◎	順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場が分散しており、分かりにくいとの声もあった。周知の工夫が必用。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の仕方、催し会場の周知の検討。</li> </ul>		

※ 学識経験者による指摘・助言

「読書祭り」は継続して行ってほしい。図書館の在り方については人がたくさん集まる場所と静かな場所が共存すべきと思う。私なりの生い立ちから見ると、「絵本」から入り「漫画(人物伝)」「民話」「小説」「専門書」となるが、市の図書館には「マンガ」が少ない。今や大人でも息抜きに「マンガ」を見ている。子供の頃の「マンガ」は挿絵を見ているだけで次ぎの展開が想像でき、胸がわくわくしたのを覚えている。広島市にまんが図書館もあるが、立川まんがぱーくの「家族がマンガを楽しめる」図書館を造ってほしい。少なくとも「マンガ」の歴史ものや伝記物を充実させるべきと考える。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	綾木いづみ絵画展開催補助金	担当課	生涯学習課
事業の目的	本市出身の日本画家・綾木いづみ氏の日本画展開催を支援することにより、地元出身作家の作品を市民に知ってもらうとともに、市民が上質な芸術作品に触れる機会を提供する。		
事業概要	本市出身の日本画家・綾木いづみ氏の日本画展及び特別連携企画の開催を支援する。		
実施状況	<p>【綾木いづみ日本画展】</p> <p>会期：H28.9.16（金）～25（日）</p> <p>会場：境港市民会館大会議室</p> <p>出品点数：60点</p> <p>来場者数：754人</p> <p>【特別連携企画 綾木いづみ講演会&amp;コンサート】</p> <p>開催日：H28.9.22（木・祝）</p> <p>会場：境港市文化ホール</p> <p>出演者：（講演）綾木いづみ （コンサート）光長真理恵・面谷真理子</p> <p>来場者数：340人</p>		
予算額	430千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綾木氏の作品及び日本画の魅力をも市民に知ってもらう機会を提供することができた。</li> <li>・実行委員が精力的に広報を行ったことにより、講演会・コンサートとも十分な集客につながった。</li> </ul>		
評価	◎	順調	
課題・問題点	・特になし		
検討事項	地元出身作家による作品展だけでなく、市民が上質な芸術作品に触れる機会を引き続き提供していく。		

※ 学識経験者による指摘・助言

- ・岩絵の具の美しさと日本画を再認識させてもらった。特別連携企画の綾木さんの講演とコンサートのあり方は今後の催し物開催の良い指標になる。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	松本英三木版画展開催事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	本市出身の木版画家・松本英三氏の作品を市民に知ってもらうとともに、市民が上質な芸術作品に触れる場を提供する。		
事業概要	本市出身の木版画家・松本英三氏の作品展を開催する。		
実施状況	会期 H28.5.21(土)～29(日)(9日間) 会場 境港市民会館大会議室 出品点数 116点 来場者数 493人		
予算額	492千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元出身作家の作品及び木版画の魅力を市民に知ってもらうことができた。</li> <li>・松本氏の同級生には会場の看視・広報などでご協力いただき、集客につなげることができた。</li> </ul>		
評価	◎	順調	
課題・問題点	・特になし		
検討事項	地元出身作家による作品展だけでなく、市民が上質な芸術作品に触れる機会を引き続き提供していく。		

※ 学識経験者による指摘・助言

・この種の催し物で常に付きまとうのが「広報のあり方」。新聞がいいのかテレビがいいのか判断がつかかねるが、費用をかけてもっとPRすべきと考える。作品に親しみを感じやすく、松本氏のサポーターをもっと援護すべきだった。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	文化財ハンドブック製作事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	市内の文化財を市民へ周知することにより、市民が地元の歴史や魅力を再認識する機会を設ける。		
事業概要	市内にある指定（登録・選択）文化財を写真や文章で紹介するハンドブックを製作し、市民（希望者）や公共施設等に配布する。		
実施状況	製作部数：900部 配布先：市民（希望者）・公共施設（小中高校・公民館・図書館等） 掲載内容：市内の国・県・市指定（登録・選択）文化財 約40点		
予算額	692千円		
成果・効果	<p>前回の発刊（H7年度）以後、市のホームページ等で文化財の紹介をしていたが、冊子の発刊を求める声が多かったため、今回の発刊は好評であった。</p> <p>今回の発刊により、市民に対し文化財の周知を図るとともに、市民が地元の歴史に関心を持つきっかけを作ることができた。</p>		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	特になし		
検討事項	文化財の保存・活用を進める上で、文化財に対する市民の関心・理解が不可欠であるため、今後も、ハンドブック・市報・市HPなどを通じ市民に周知を図っていく。		

※ 学識経験者による指摘・助言

- ・このハンドブックは、境港市にとって非常に貴重なものであり、市民一人一人が手に取って市の成り立ちや発展を知る為の、道しるべとして利用して頂きたい。そのためには市報等のPRはもとより、各種イベント開催時にも配布できるよう配慮して頂きたい。
- ・次は、年代に沿った構成をし、境港の歴史認識ができる「歴史のぞき見ガイドブック」が出来ればと期待します。